

# 朝日新聞



## 6月のおすすめ



### be ヨシタケシンスケさん登場

各界で先頭を走る人を紹介する「フロントランナー」には、全国の祭りの手助けをしている「オマツリジャパン」の加藤優子社長（4日）や初の大規模個展を開いているイラストレーターのヨシタケシンスケさん（11日）らが登場。その人ならではの言葉で元気を与えます。

### The Asahi Shimbun GLOBE



### 「補う」を超えて 人工感覚器の最前線

人工知能などによって、視覚や聴覚を補う機器がめざましく進歩しています。たとえば、聞こえにくさを解消するだけでなく、自動翻訳までしてくれる手の指先大の補聴器も登場。GLOBE 6月19日号では、そんな人工感覚器の最前線がひらく世界を考えます。



### 今も昔も 日本のプロ野球は熱い

大リーグもいいけれど、日本のプロ野球が楽しみという方も多いでしょう。完全試合を達成した佐々木朗希投手をはじめ、今年も話題は盛りだくさん。5月24日からはセパ交流戦です。思い出の試合、球場での楽しみ方……6月4日の「声」欄でご紹介します。

### お申し込みはこちら

QRコードを読み込んでアクセス

お電話からのお問い合わせ

7日間  
無料お試し



ご購入



☎ 0120-33-0843

ウェブページからアクセス

お電話での受付は午前7時～午後9時。  
配達手続きまで、お時間がかかる場合がございます。  
ご了承ください。

→ [7日間無料お試し](#)

→ [ご購入](#)

※紙面予定はニュースの発生などにより、変更になる場合があります

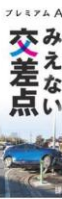


交通事故が多発している静岡県津島市西沢田の交差点。昼間から夕暮れにかけて、絶え間なく車が行き交った=2021年10月、岡田航撮影

# 危ない交差点 統計に死角

## 事故68万件を分析 多発地点浮かぶ

【東京17日】交通事故の死者が約1万5千人に達した。そのうち約1割は交差点で発生している。警察が集計する統計の対象になっていない危険な交差点が全国にあることが分かりました。取材班は、公開されている68万件の人身事故データを独自に分析し、「みえない交差点」と名付けて実態に迫りました。



取材した記者

山崎 啓介 デジタル機動報道部



「魔の交差点」などと呼ばれる事故が多い危険な交差点を、データを分析することで見つけ出せるのではないかと。そんな狙いから取材は始まりました。分析で明らかになった「みえない交差点」を検索できる全国マップもぜひご覧ください。



# 権力批判 萎縮させる恐れは

4月29日 1面、社会面



# 批判黙らす権力 日本でも

【東京29日】ロシアのウクライナ侵襲に抗議する市民が弾圧されている。翻って日本はどうでしょうか。北海道と埼玉では、政権幹部の街頭演説に抗議した人たちが警察に排除されました。国会審議中の侮辱罪の厳罰化も、権力批判を萎縮させる恐れが指摘されています。

ロシアでは、ウクライナ侵襲に抗議する市民が弾圧されています。翻って日本はどうでしょうか。北海道と埼玉では、政権幹部の街頭演説に抗議した人たちが警察に排除されました。国会審議中の侮辱罪の厳罰化も、権力批判を萎縮させる恐れが指摘されています。

取材した記者

岡野 翔 大阪社会部



もちろんロシアと日本の言論状況を単純に比較することはできません。ただ、「対権力」という意味で、日本は本当に自由にモノが言える国なのか、少しずつ不自由が広がっているのではないかと。取材を進めながら、そんな危機感を抱きました。